

1 人口及び世帯数の推移

(単位:人,世帯,km²)

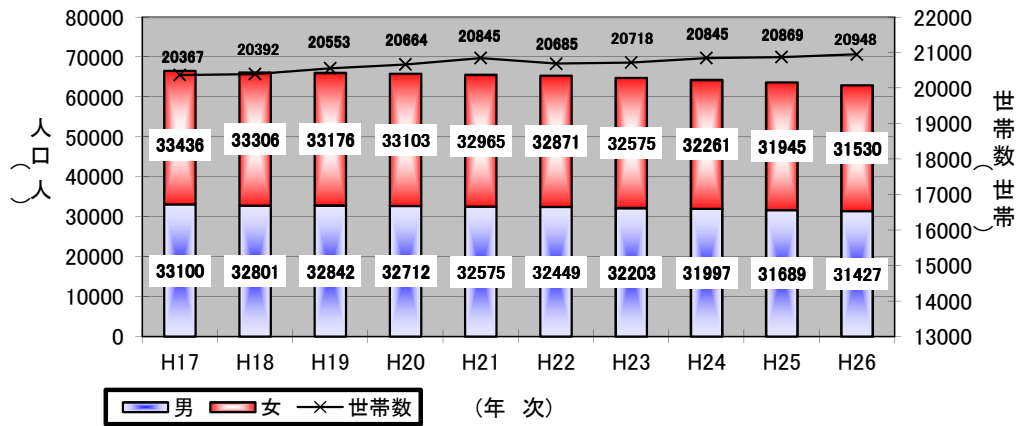
年次	区分	人口			世帯数	人口密度	1世帯当たり	備考	面積
		総数	男	女			人員数		
昭和40年	旧水海道	36,584	17,711	18,873	7,778	459.6	4.7	※	79.60
	旧石下	18,481	8,882	9,599	3,731	421.0	5.0	※	43.84
昭和50年	旧水海道	38,820	19,078	19,742	9,147	487.6	4.2	※	79.62
	旧石下	19,220	9,415	9,805	4,321	438.0	4.4	※	43.84
昭和60年	旧水海道	41,715	20,560	21,155	10,246	523.9	4.1	※	79.62
	旧石下	21,532	10,689	10,843	5,125	491.0	4.2	※	43.84
平成2年	旧水海道	42,340	20,873	21,467	10,939	531.8	3.9	※	79.62
	旧石下	22,004	10,968	11,036	5,547	502.0	4.0	※	43.84
平成7年	旧水海道	42,683	21,141	21,542	11,793	535.7	3.6	※	79.68
	旧石下	23,346	11,712	11,634	6,446	533.0	3.6	※	43.84
平成12年	旧水海道	42,015	20,758	21,257	12,195	527.3	3.4	※	79.68
	旧石下	24,230	12,197	12,033	7,010	553.0	3.5	※	43.84
平成13年	旧水海道	42,262	20,845	21,417	12,583	530.4	3.4		79.68
	旧石下	24,354	12,321	12,033	7,172	560.0	3.4		43.84
平成14年	旧水海道	42,209	20,852	21,357	12,676	529.7	3.3		79.68
	旧石下	24,606	12,329	12,277	7,239	561.0	3.4		43.84
平成15年	旧水海道	42,407	21,032	21,375	12,986	532.2	3.3		79.68
	旧石下	24,806	12,406	12,400	7,376	566.0	3.4		43.84
平成16年	旧水海道	42,542	21,127	21,415	13,230	533.9	3.2		79.68
	旧石下	25,009	12,494	12,515	7,515	570.5	3.3		43.84
平成17年	旧水海道	41,867	20,733	21,134	12,906	525.4	3.2	※	79.68
	旧石下	24,669	12,367	12,302	7,461	562.7	3.3	※	43.84
平成18年	常総市	66,107	32,801	33,306	20,392	535.2	3.2		123.52
平成19年	常総市	66,018	32,842	33,176	20,553	534.5	3.2		123.52
平成20年	常総市	65,815	32,712	33,103	20,664	532.8	3.2		123.52
平成21年	常総市	65,540	32,575	32,965	20,845	530.6	3.1		123.52
平成22年	常総市	65,320	32,449	32,871	20,685	528.8	3.2	※	123.52
平成23年	常総市	64,778	32,203	32,575	20,718	524.4	3.1		123.52
平成24年	常総市	64,258	31,997	32,261	20,845	520.2	3.1		123.52
平成25年	常総市	63,634	31,689	31,945	20,868	515.2	3.0		123.52
平成26年	常総市	62,957	31,427	31,530	20,948	510	3		123.52

(注1)各年10月1日現在

(注2)備考※は国勢調査実施年

資料:茨城県の人口と世帯
国勢調査

過去10年間の人口と世帯の推移



※ H16～H17年の人口と世帯数は旧水海道市と旧石下町の合計 H18より常総市

世帯規模は、東京で最少、山形で最大

2010年の世帯規模について都道府県別に見ると、東京が2.05人で最少、次いで北海道(2.23人)、鹿児島(2.29人)、の世帯規模も小さい。一方、世帯規模が大きい県は、山形の2.29人を初めとして、福井(2.93人)、富山(2.93人)などである。

都道府県間の世帯規模の格差は、最大と最少で0.9人にの上るが、その背景として、出生、死亡の差異は元より、世帯の家族類型の差異が影響している。

資料：(財)日本統計協会「統計でみる日本2012」より

世帯人員(1世帯当たり人員)
(平成25年10月1日現在)

1 八千代町	3.26人
2 河内町	3.21人
3 桜川市	3.18人
⋮	
7 常総市	3.05人
⋮	
44 水戸市	2.33人

人口密度(総面積1km²当たり)
(平成25年10月1日現在)

1 守谷市	1,788人
2 ひたちなか市	1,584人
3 取手市	1,534人
⋮	
23 常総市	515人
⋮	
44 太子町	58人

茨城県「市町村早わかり」より